



1. 製品及び会社概要

- 1.1 製品名**
ユニベストシルキー 液
- 1.2 会社名**
株式会社 松風
- 1.3 住所**
京都市東山区福稲上高松町 1 1
- 1.4 担当部門**
技術部品質保証課
- 1.5 担当者**
品質保証課長
- 1.6 電話番号**
075-561-1112
- 1.7 FAX 番号**
075-561-2272

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

分類対象外又は分類できない。

GHS ラベル要素 なし
注意喚起語 なし
危険有害情報 なし

注意書き [安全対策]
添付文書を読み理解するまで取り扱わないこと。
[応急措置] なし
[保管]
密閉して、高温多湿は避けて保管すること。
[廃棄]
内容を明確にして公認の産業廃棄物処理業者に委託するか、もしくは地方公共団体の規則に従うこと。

国・地域情報

国内法は第 15 章「適用法令」を参照のこと。

3. 組成及び成分情報

- 3.1 単一製品・混合物の区別**
混合物
- 3.2 成分及び含有量**
アモルファスシリカ ≒ 40 %
水
- 3.3 官報公示整理番号（化審法）** 1-548
- 3.4 CAS No.** 7631-86-9、7732-18-5

4. 応急措置

4.1 眼に入った場合

直ちに流水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続ける。直ちに眼科医の診察を受けること。

4.2 皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗浄すること。刺激が生じた場合は、医師の診察を受けること。

4.3 吸入した場合

新鮮な空気のところまで体を毛布等で保温して安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

4.4 飲み込んだ場合

清浄な水で口の中を洗浄する。気分が悪い場合は医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

粉末消火剤、炭酸ガス消火剤、泡消火剤、乾燥砂

5.2 特定の消火方法

化学的に安定であり燃焼しない。

5.3 消火を行う者の保護（保護具等）

火災の際は、適切な保護具や防火服を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項

関係者以外の立ち入りを禁止する。適切な保護具を着用する。

6.2 環境に対する注意事項

河川、水路や下水に流れ込まないように注意すること。

6.3 除去方法

少量の場合は、水で洗い流す。大量の場合は、おがくず、ウェス、砂等に吸収させて密閉できる空容器に回収する。

6.4 二次災害の防止

なし。

7. 取り扱い及び保管上の注意

7.1 取り扱い

皮膚、目との接触、蒸気の吸入等を避けるために、適切な保護眼鏡等の保護具を使用すること。屋内作業における取り扱い場所では局所排気装置を使用する。

7.2 保管

密閉して高温多湿の場所を避けて保管すること。

冬季に寒冷地では凍結しないように注意すること。一旦凍結したものは、初期の性能が確保できないため使用しないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

8.1 設備対策

局所排気装置、安全シャワー、手洗い・洗顔設備、洗眼器等

8.2 環境濃度

設定されていない。

8.3 許容濃度

アモルファスシリカ

| | | |
|--------------------------------|---------|------------------------------------|
| 日本産業衛生学会 | 吸入性粉塵 | 2 mg/m ³ (その他無機粉塵) |
| | 総粉塵 | 8 mg/m ³ (その他無機粉塵) |
| ACGIH silica (Amorphopus) fume | TLV-TWA | 2.0 mg/m ³ (Respirable) |
| silica (Amorphopus) fused | TLV-TWA | 0.1 mg/m ³ (Respirable) |

8.4 保護具

保護マスク、保護手袋、保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---------------------|----------|
| 9.1 外観等 | 透明液体 |
| 9.2 臭い | なし |
| 9.3 pH | 9.5-10.5 |
| 9.4 融点・凝固点 | データなし |
| 9.5 沸点、初留点および沸騰範囲 | ≒ 100 °C |
| 9.6 引火点 | データなし |
| 9.7 燃焼または爆発範囲の上限・下限 | データなし |
| 9.8 蒸気圧 | データなし |
| 9.9 比重又は嵩比重 | ≒ 1.2 |
| 9.10 溶解度 | 可溶 |
| 9.11 η-オクタノール/水分配係数 | データなし |
| 9.12 自然発火温度 | データなし |
| 9.13 分解温度 | データなし |

10. 安定性及び反応性

10.1 安定性

通常条件では安定。

10.2 反応性

酸、アルカリと混ざった場合、ゲル化することがある。

11. 有害情報

| | |
|------------------------|--|
| 11.1 急性毒性 | 経口 マウス LD50 > 80000 mg/kg アモルファスシリカ ; 経口 ラット LD50 3160 mg/kg |
| 11.2 皮膚腐食性・刺激性 | データなし |
| 11.3 眼に対する重篤な損傷・刺激性 | データなし |
| 11.4 呼吸器感作性または皮膚感作性 | データなし |
| 11.5 生殖細胞変異原性 | データなし |
| 11.6 発がん性 | データなし |
| 11.7 生殖毒性 | データなし |
| 11.8 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) | データなし |
| 11.9 特性標的臓器/毒性 (反復ばく露) | データなし |
| 11.10 吸引性呼吸器有害性 | データなし |



安全データシート

12. 環境影響性

- | | |
|----------|-------|
| 12.1 分解性 | データなし |
| 12.2 蓄積性 | データなし |
| 12.3 魚毒性 | データなし |

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として処理に関する法律、規則、条令に則り廃棄する。廃棄する場合は、内容を明確にして産業廃棄物処理業者に委託する。

14. 輸送上の注意

- 14.1 注意事項
漏れのないことを確認する。
- 14.2 国連番号・国連分類
非該当

15. 適用法令

- 15.1 消防法
非該当
- 15.2 労働安全衛生法
非該当
- 15.3 化学物質管理促進法
非該当

16. その他の情報

本記載内容は、現時点で弊社が入手した資料・情報・データに基づいて作成しておりますが、新しい知見により改定されることがあります。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

*) 本製品は、歯科用として設計しておりますので、他の用途のご利用の場合は、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、性能についても事前にご確認の上でご利用ください。